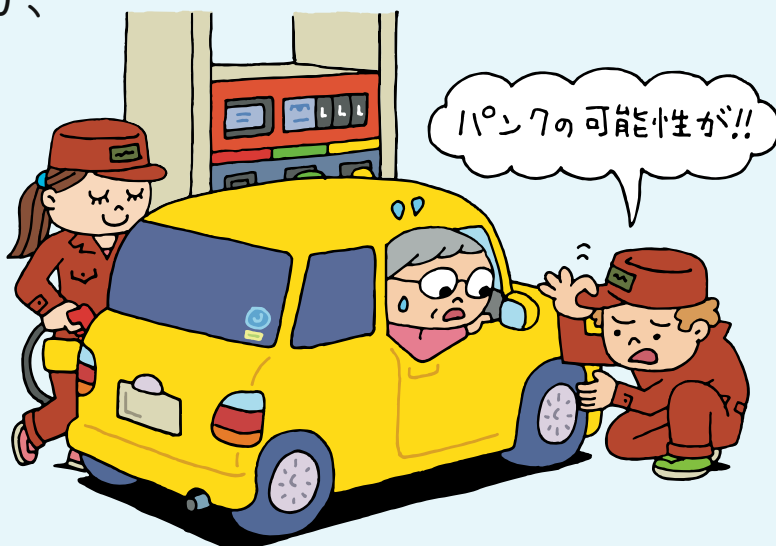


# 見守り 新鮮情報

市外へ出かけた際、給油価格が安かったので有人の**ガソリンスタンド**に立ち寄った。給油中に店員が「**タイヤの空気圧**に異常がある。**パンク**の**可能性**がある」と言ってきた。タイヤは溝がすり減っておらず走行距離も1万キロなので**交換の必要はない**

**と思っただ**、

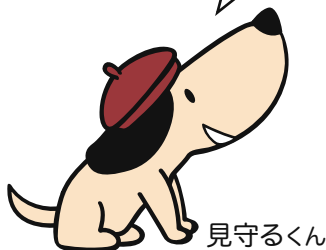
「素人にはわからない。**危険な状態**だ。このままでは**事故**になる」と**タイヤを外して**点検しながら言われ、**断りきれず**タイヤ交換を**了承**してしまった。前輪2本の交換で約**3万5千円**を支払った。  
(60歳代 男性)



## 「危険な状態」と、 ガソリンスタンドで タイヤ交換を勧められた

### ひとこと助言

その場で  
決めないで



見守るくん

- ガソリンスタンドでの給油中の点検をきっかけに、「このままでは危険」「事故につながる」などと不安をあおられ、本当に必要か疑わしいエンジンオイルやタイヤの交換、修理などを迫られたという相談が寄せられています。
- たまたま立ち寄ったガソリンスタンドで交換や修理を勧められても、その場では決断せず、日ごろの点検で車両の状態をよく知っているディーラーや整備会社などに相談して、交換や修理をするか検討しましょう。
- 車の所有者や運転者も、日ごろから車の点検や整備を行う義務があります。前照灯や方向指示器の動作、タイヤ・エンジンオイル・バッテリーの劣化具合など、基本的な車の状態は把握できるようにしましょう。
- 不審に思ったときは、お住まいの自治体の**消費生活センター**等にご相談ください(消費者ホットライン188)。